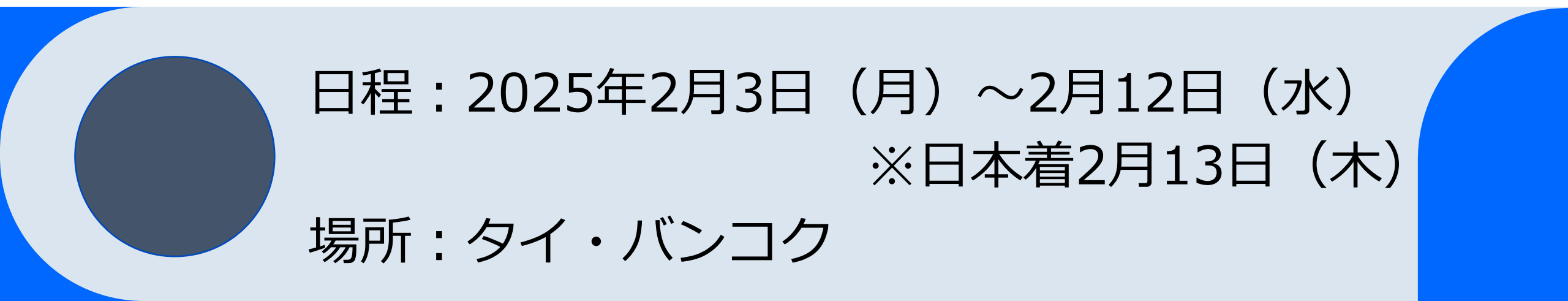




2024年度 タイ文化・ボランティア研修



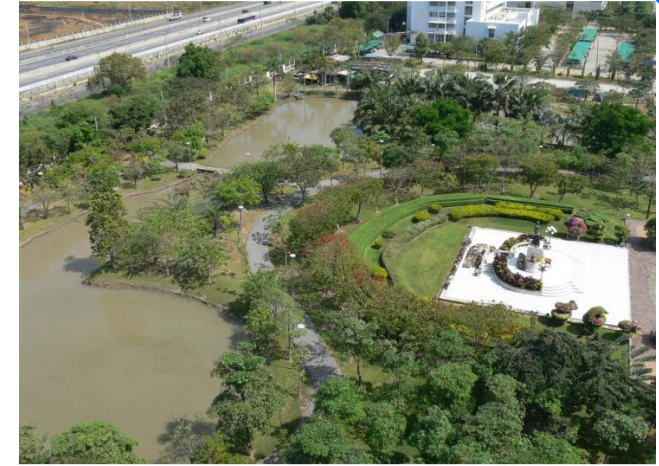
日程：2025年2月3日（月）～2月12日（水）
※日本着2月13日（木）

場所：タイ・バンコク

モンクット王ラカバン工科大学 (KMITL) について

概要	創立1960年学生数約20,000人
学部	工学部、建築学部、理学部、農業技術学部、教育産業学部、食産業学部、情報通信学部、経営学部、教養学部、医学部、歯学部
特徴	<ul style="list-style-type: none">・タイの国立大学であり、11の学部と大学院を併せ持つ総合大学・附属病院、付属校を併設・日本の高等専門学校のカリキュラムも施行されている。・タイ国の工業化進展に伴い必要となる工科系人材の主要な輩出先としての役割を担っている。また、本大学設立時より日本政府の無償資金協力及び技術協力による支援や東海大学及び大学創立者・故松前重義氏の支援を多大に受けながら大学が発展している。
東海大学との関係	東海大学とは創立当初から関係性を持っており、現在も多くの学生、教職員の交流が活発に行われている。
住所	1 Chalong Krung, 1 Alley, Lat Krabang, Bangkok 10520

キャンパス写真



タイ文化 ボランティア 研修

東海大学がタイで実施した初めての学生交流活動で、1996年度国際学科のプログラムとしてスタートした。

今年度の活動で25回目（2019年度～21年度まではコロナで実施不可）となり、今までにタイの16県で活動を行ってきた。今年は、初めてスパンブリー県に行き、活動を行う予定となっている。

今までの活動風景



スケジュール

スケジュールに関しては、多少の変更も出てくるかと思えます。

2月3日 バンコク到着

2月4日 バンコク→スパンブリー県へ移動（バンコクから約2時間）到着後、派遣先高校での歓迎式、学生活動スタート

2月5日～8日 ボランティア活動
学校内、お寺、周辺地域での活動

2月9日 スパンブリー県の史跡、博物館見学など

2月10日 スパンブリー出発→アユタヤ研修→バンコクへ

2月11日 バンコク研修

2月12日 バンコク発 日本へ帰国



スパンブリー県とは？



- バンコクから車で約2時間
- 3,500～3,800年の歴史を持つ古い町で、豊かな文化や歴史的な寺院が数多く存在

スパンブリー県観光動画（タイ語）

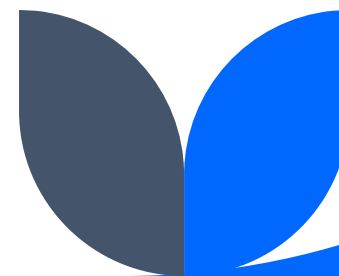
<https://www.youtube.com/watch?v=nIKTD0ez8SU>

派遣先高校



Srayaisomwittaya School

<https://www.srayaisomwittaya.ac.th/home>



Srayaisomwittaya School

中学1年～高校3年

教員数 38名

学生数 509名

日本語の授業は開講されていない。

タイ語の学校紹介

https://www.youtube.com/watch?v=FzIQh9zB_UQ

活動内容

- ① ボランティア活動
 - スポーツ場のペンキ塗り
 - Petanque場（モルックに似た競技）の作成
 - お寺、学校周りの掃除
 - 肥料づくり

など



② 日本文化紹介

- 折り紙
- 習字
- 日本食づくり
- 日本語授業
- その他

など



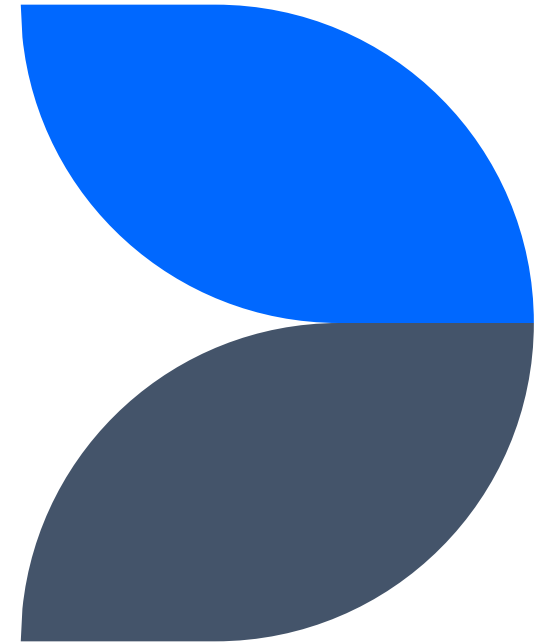
東海大学学生、KMITL学生、派遣先
学校の中高生と合同で活動します。



その他連絡事項

バンコクではKMITLの寮に宿泊しますが、スパンブリー県滞在中は現地高校で寝泊まりします。

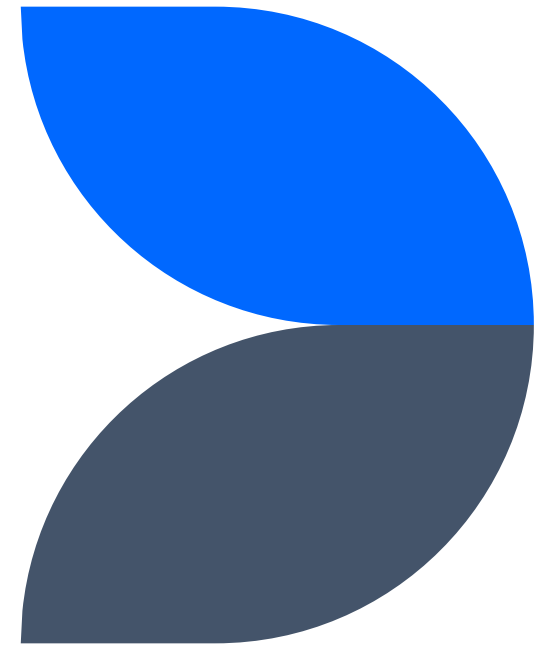
KMITLの寮にいる間の食費は実費となりますが、スパンブリー県にいる間は、KMITL側が用意することになってます。光熱費に関しては無料です。



その他連絡事項

まだ詳しい学校の様子は分かりませんが、私が事前に下見に行き、参加者には、持ち物など、タイ渡航前までに説明をします。

プログラム参加者は、タイ渡航前までに、タイ語学習4回と事前研修1回を行う予定です。タイ語の授業形態はオンデマンド方式で、各自で授業動画を見る形とします。



この研修は、講義を受講するといった座学ではなく、体験型（ボランティアや史跡見学など）のプログラムとなります。タイの大学生との交流や、現地訪問先の高校生との交流プログラムも用意しています。

ボランティア活動を行い、少し体力を使う場面もありますが、タイ人学生やタイの文化に興味がある方は是非参加してみてください。

